

硬筆書道

一般部 中・上級編

硬筆書道検定テキスト

宮崎県硬筆書道検定委員会

執筆法について

ペン軸の下から2～3センチぐらい下の方を持ち、ペンと紙面の角度が45°～60°ぐらいが平均的な持ち方です。ペンを立てすぎて紙を破いたりしないようにしましょう。(写真参考)



ペンは、紙面との角度を45°～60°ぐらいにし、指や腕に力を入れすぎないで軽快に運ぶ。



上体は、まっすぐにし、やや前にかたむける。
足の位置に注意する。


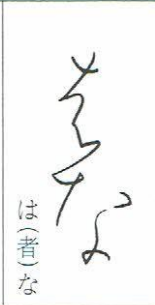

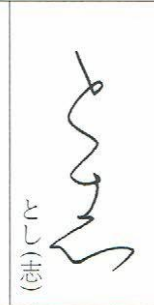
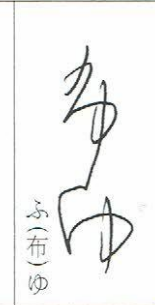
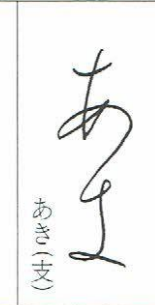

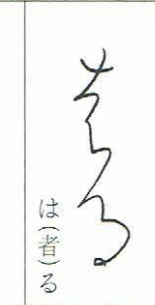




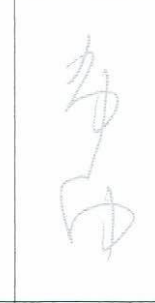


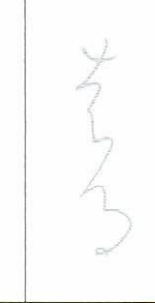
目次	
硬筆書道の心得	1
〈実用文字・楷書〉	2
〈実用文字・行書〉	3
〈平仮名〉	4
〈変体仮名〉	6
〈仮名連綿〉	8
〈仮名連綿・古筆・臨書〉	10
〈楷書の文書〉	12
〈行書の文書〉	14
〈ハガキ・表書き〉	18
〈ハガキ・裏書き ※年賀状〉	19
〈短冊〉	20
〈散らし書き・俳句〉	22
〈散らし書き・短歌〉	23
〈実用書き・筆ペン〉	24
〈揭示文〉	26
〈賞状〉	27
〈詩歌〉	28
〈漢文の書き下ろし〉	29
〈臨書〉	30
〈仮名臨書・高野切第三種〉	34
〈仮名臨書・高野切第一種〉	35
〈四体の練習(楷・行・草・隸)の練習〉	36
書道史	40




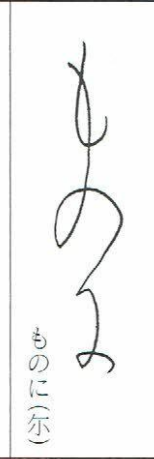
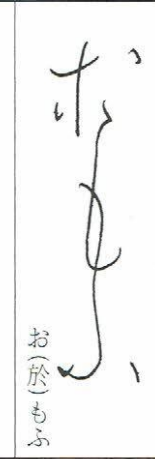
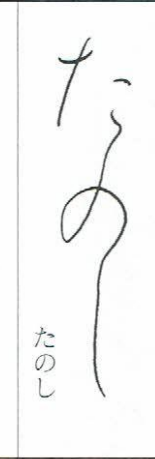
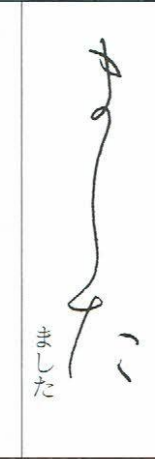
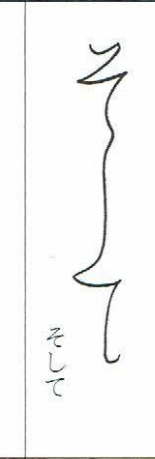
九州	福岡	京都	名古屋	大阪	東京	東北	北海道
九州	福岡	京都	名古屋	大阪	東京	東北	北海道

西都	小林	日南	延岡	都城	宮崎	鹿児島	熊本
西都	小林	日南	延岡	都城	宮崎	鹿児島	熊本

在 中	各 位	先 生	御 中	氏 名	住 所	前 略	拝 啓
在 中	各 位	先 生	御 中	氏 名	住 所	前 略	拝 啓

酷 寒	秋 冷	盛 夏	春 暖	平 成	至 急	追 伸	親 展
酷 寒	秋 冷	盛 夏	春 暖	平 成	至 急	追 伸	親 展

ルーズ・ベネボイクトの文章より	ゆる性を実行する人である。	恥を感じやむ、人間ニシ、善行のあら	る。恥は徳の根本である、と彼らは言う。	すること「が」できないこと、それが恥辱である	から、または起る「り」べき偶然を予見	えた「こと」、これらの義務の均衡をた	明らかに定められた善行の道標に従	日本人は恥辱感を原動力にしてゐる。										
-----------------	---------------	-------------------	---------------------	------------------------	--------------------	--------------------	------------------	-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

寸
志

御
礼

御
祝

命
名

御
祝
儀

御
靈
前

記
念
品

御
見
舞

御
歲
暮

御
中
元

快
氣
祝

御
年
賀